

平成21年度実施事業報告書

1. 第13回 東葉サマーコンサート

東葉高速線沿線の夏の恒例イベントとして広く認知され、今年で13回目を迎えた東葉サマーコンサートは、8月20日(木)と21日(金)の2日間開催した。

昨年は、2日間開催のうち1日が悪天候で中止となり、学校関係者や、演奏を楽しみにしていた方から中止を惜しむ声が聞かれた。そのため、本年のイベント実施にあたっては駅前広場での開催とともに、雨天時における開催場所としてイオン八千代緑が丘SCの協力を得て、事前に雨天が見込まれる場合には、イオンSC内「アゼリア広場」での開催も計画した。

(1) 第13回東葉サマーコンサート実施概要

①目的

「第13回東葉サマーコンサート」は、沿線地域の鉄道利用者への日頃の感謝と、沿線住民の方々に、当社線により一層の親しみを持っていただくため、当社社員と地元学生による手作りのイベントとして開催する。なお、演奏形態は学生によるブラスバンドを主体に、和太鼓等を融合させ実施。

②協賛

八千代商工会議所、イオン八千代緑が丘ショッピングセンター、(株)伊藤楽器、京成バラ園芸(株)、(株)小池電機、(株)サンカジロ

③開催日時

平成21年8月20日(木) 21日(金)
両日とも17:30～20:50

④開催場所

東葉高速線 八千代緑が丘駅南側駅前広場

※雨天もしくは雨天が見込まれる場合は、イオンSC内アゼリア広場での開催とする。

⑤広 報

ア) ポスター

掲出場所：当社線各駅および当社車両車内中吊り
鉄道事業者〔新京成・北総〕、出演校、沿線自治体、
協賛企業等

イ) プレスリリース

船橋市記者クラブ、千葉県庁記者クラブ

ウ) 東葉高速鉄道ホームページ

エ) PR用うちわ

6000部作成し当社線各駅および会場、沿線自治体にて配布。



(2) 実施総括

開催日においては両日も天候に恵まれ、約 4000 名のお客様が観覧する中、学生による吹奏楽や軽音楽・太鼓など迫力ある演奏を行った。また、1 日目においては、八千代市長に多忙な中ご来場いただき、ステージ上でご挨拶をいただいた。

なお、2 日目の出演校のうち千葉英和高校については、新型インフルエンザが発生したことによる学校側の活動自粛方針により、出演を辞退した。



2. 「東葉の日・家族車両基地まつり」実施報告

今回、より一層の企業イメージ向上と地域貢献を兼ねて8年ぶりとなる車両基地の開放イベントを開催した。

今年は「とうよう」と読める10月4日が日曜日に当たることから、この日を開催日とした。また、イベント内容は社内に設置した実行委員会で決め、各実行委員が役割を分担して事前の準備と当日の運営を行った。

開催日の前後4日間はいずれも雨であったが、開催当日だけは天候に恵まれ、事前の予想(2,000名)を大幅に上回る3,544名の方が来場された。車掌体験やモーターカー試乗会などの体験型イベントが特に人気を集めたほか、特設ステージでは多彩なパフォーマンスが繰り広げられ、会場は賑わった。

(1) イベント概要

開催日：平成21年10月4日(東葉の日・日曜日)

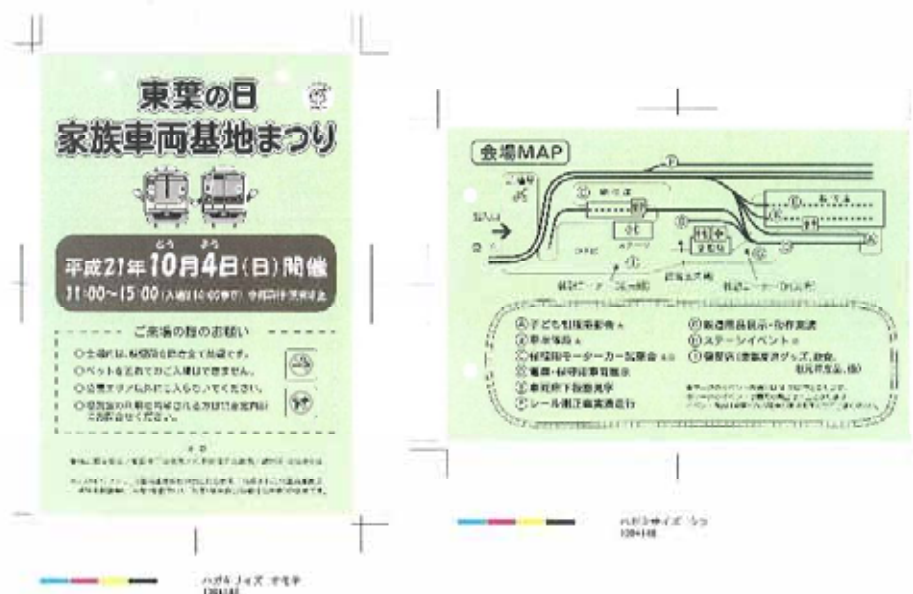
開催時間：11時～15時(入場は14時まで)

会場：東葉高速鉄道 車両基地

参加方法：自由参加、または特別列車運行による事前応募(200名限定)

参加費：無料

後援：船橋市観光協会／船橋商工会議所／八千代商工会議所／緑が丘自治連合会



▲ 受付で来場者に配付した参加カード(首ひも付き)

(2) イベント内容

①特別列車運転

八千代緑が丘駅～車両基地間に 2000 系による特別列車を運転

※往復はがきによる事前応募制で 200 名を募集（応募多数のため抽選）

②子ども制服撮影会

新デザインの制服・制帽（小学校低学年用、高学年用、大人用）を貸与し、保護者等が各自のカメラにより展示車両前で撮影

③車掌体験

2000 系の運転台見学、解説、ドア開閉、車内アナウンス体験

④保線用モーターカー試乗会

工務区のモーターカーが牽引する軽貨車に試乗

⑤電車・保守用車両展示

電車（東葉 2000 系 1 編成、東京メトロ 05 系 1 編成）を屋外展示
保守用車両（工務区・電気区モーターカー他）屋外展示、解説。

⑥車両床下機器見学

車両の床下機器の見学、解説

⑦レール削正車実演走行

工務区車庫～随修場付近を往復走行しながらレールの削正を実演

⑧鉄道用品展示・動作実演

パンタグラフの昇降と行先方向幕の回転の操作体験

⑨ステージイベント

吹奏楽、バンド、ダンスグループのパフォーマンス

⑩模擬店

ア) 東葉高速グッズ販売会

2000 系グッズ（B トレ、ボールペン、携帯クリーナー等）、使用済鉄道部品（カットレール、トロリ線、車両部品等）等販売

イ) 弁当、飲料、地元農産物、地元特産品など

⑪管理所屋上開放

屋上を休憩所として開放

⑫その他

「やちよの水」ペットボトル 1,000 本無料配布（八千代市上下水道局提供）

(3) 実施結果

①車両基地入場者数 3,544 名

②主なイベントの参加者数

ア) 子ども制服撮影会 約 400 名

イ) 車掌体験 約 400 名

ウ) 保線用モーターカー試乗会 約 1,000 名

③グッズ販売会の売上 825,200 円 (2,368 点)

④八千代緑が丘駅の定期外乗降人員 (9 時～17 時)

当日 5,772 人 前週 4,494 人 差 1,278 人増、28.4%

(4) 当日の様子

①子ども制服撮影会



撮影会では社員と一緒に写真に納まることもあった

②運転台見学・車掌体験



電車の運転席に入り、車内放送やドアの開閉などが体験できるイベント(手前側の車両)。大変な人気を集めていた。

③鉄道用品展示・動作実演



パンタグラフと行先方向幕の操作を体験できる。

④保守用モーターカー試乗会



保守用モーターカーが牽引する軽貨車に試乗できるイベント。ステップを使って乗り込む。順番待ちの列が途切れない人気イベントとなった。

⑤ステージイベント



吹奏楽、バンド、ダンスパフォーマンスは特設ステージで行った。

⑥模擬店



模擬店には、食品の販売をはじめ、地元産の野菜や東葉高速グッズの販売ブースも設けた。

(5) 広報活動

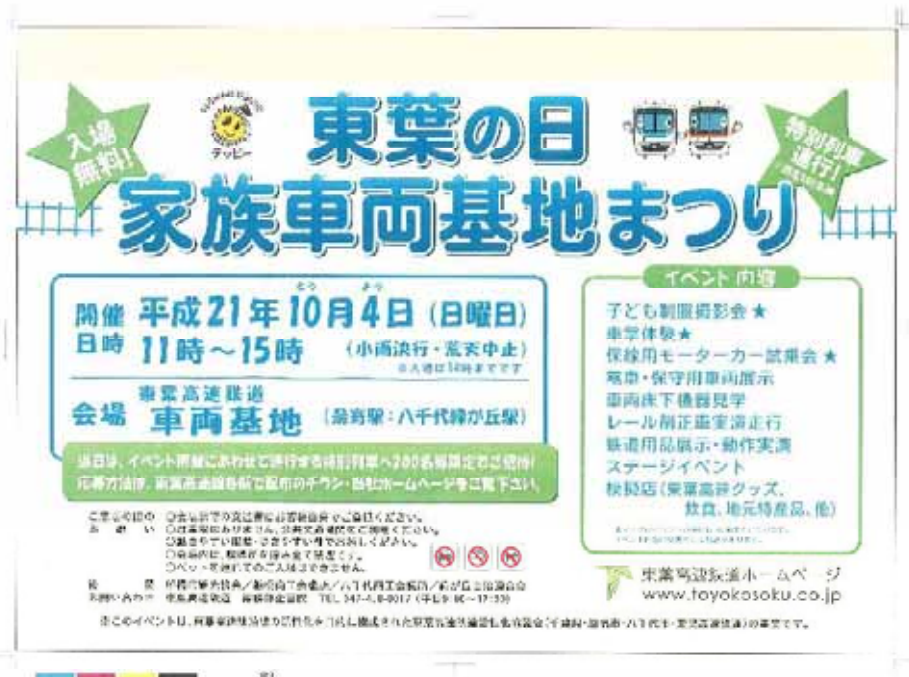
- ①東葉高速、新京成、北総の各駅および千葉県庁、船橋市役所、八千代市役所、船橋商議所、八千代商議所へのポスター掲出およびチラシ配布（一部）
- ②東葉高速、活性化協議会（八千代市）、船橋商議所、PASMO 協議会、ちばプロモーション協議会の公式サイトへの掲載
- ③東葉高速車内（業務枠）への中吊広告掲出
- ④東葉高速車内での案内放送
- ⑤地元紙への掲載、機関新聞への情報提供、
 - ・「テッピーニュース 2009」、「関東鉄道協会会報」、「SUBWAY」（日本地下鉄協会報）、「広報やちよ」、「商工やちよ」、「鉄道おもちゃ」（雑誌）、「まいふれマガジン東葉高速版」（フリーペーパー）、「オニオン新聞八千代市版」（フリーペーパー）、その他報道関への投げ込み（県政記者クラブ、船橋支局）



▲ 2000系車内（業務枠）への中吊り広告掲出の様子



▲ チラシ（A4サイズ・白黒両面印刷）



▲ 中吊り 兼 ポスター (A3 サイズ・カラー片面印刷)

(6) 実施総括

東葉高速鉄道の車両基地イベントは 8 年ぶり 3 回目であり、大々的な一般開放型イベントは初めてとなった。ノウハウの蓄積がない状況で開催したが、結果的に大勢の方にご来場いただき、事故もなく無事終えることができた。

3,544 名という来場者数は、新京成の車両基地イベント (例年 3,500 名前後) に匹敵し、メトロの車両基地イベント (6 月の新木場で 6,500 名程度) の半数以上という水準となる。

来場者のアンケート結果からは極めて好意的な反応がうかがえ、こうしたイベントは有意義なことと思われる。

予想以上に来場者が多くなり、スタッフが満足に休憩もとれないなど運営面での反省点を残したが、天候に恵まれて全体としては成功裏に終了した。今後は、今回の反省点を踏まえた改善と、マンネリ化を防ぐ工夫が求められていくこととなる。

3. 「ふなばし・やちよスタンプラリーウォーク」実施報告

ウォークイベントについては、平成19年3月以来、継続的にウォークイベントを展開してきたところである。

今年度については、沿線やその周辺にある名所・旧跡の魅力など、身近な見どころを紹介することで地域の付加価値を高め、参加者に「船橋・八千代への再訪のきっかけを」という気持ちの高揚と、東葉高速線の利用促進、さらには地域の活性化を図ることを目的に「ふなばし・やちよスタンプラリーウォーク」を開催した。

今回は、開催以来最長の12.5kmで、過去2番目に多い757名の方々にご参加いただき、大きなトラブルもなく無事に終了することができた。また、スタート駅（船橋日大前駅）では、開催日に定期外旅客の増加が見られた。

(1) イベント概要

名 称：ふなばし・やちよスタンプラリーウォーク

開 催 日：平成21年11月8日（日）

スタート：東葉高速線 船橋日大前駅 東口【受付時間 9:30～10:00】

ゴール：京成バラ園【受付時間 11:30～15:00】

コース：距離12.5km

船橋日大前駅東口→せせらぎの道→坪井近隣公園→
八王子神社（第1チェックポイント）→桑納川公園（休憩所）→
新川サイクリングロード→飯綱神社（第2チェックポイント）→
萱田近隣公園→高架橋沿い遊歩道→京成バラ園

参加方法：当日集合場所で受付

参加費：無料

後 援：八千代市レクリエーション協会／京成バラ園芸株式会社

協 賛：ネオス(株)／キリンビバレッジ(株)／サッポロ飲料(株)

特 典：完歩証（参加カードに完歩のスタンプを押印したもの）

東葉オリジナルエコバッグ・ローズガーデン入園料割引（100円引）
・飲料（協賛企業から無償提供）



▲東葉オリジナルエコバッグ



▲「ふなばし・やちよスタンプラリーウォーク」参加カード



▲各チェックポイントとゴールのスタンプのデザイン

(2) 参加者数

757名（うち80名弱が割引券を利用しローズガーデンに入園）

(3) 当日の様子

①スタート地点



船橋日大前駅東口ロータリーのスタート地点と受付開始を待つ参加者の列。

②コース上



受付を終え出発していく参加者。迷わないよう先導員（レク協）を付けた。



コース途中の公園に設けた休憩所。簡易トイレを6基設置した。



交通量の多い道路横断箇所にはガードマンを配置し安全に配慮した。

③ゴール地点



ゴール会場では、完歩賞としてエコバッグを配布。また、参加者には、飲料メーカーの協賛により飲み物の無料配布を行った。

(5) 広報活動

- ①東葉高速、新京成、北総の各駅および千葉県庁、船橋市役所、八千代市役所、船橋商議所、八千代商議所へのポスター掲出およびチラシ配布（一部）
- ②東葉高速、活性化協議会（八千代市）、船橋商議所、PASMO 協議会、ちばプロモーション協議会の公式サイトへの掲載
- ③東葉高速車内（業務枠）への中吊広告掲出
- ④東葉高速車内での案内放送
- ⑤地元紙への掲載、機関新聞への情報提供、
「テッピーニュース 2009」（鉄道の日実行委員会広報誌）、「関東鉄道協会会報」、
「広報やちよ」、「商工やちよ」、報道機関への投げ込み（県政記者クラブ、船橋支局）



▲ポスター

(6) 総括

今回のウォークイベントでは、沿線にある旧跡にチェックポイントを置き、身近な見どころを紹介することで地域の付加価値を高め、参加者に「船橋・八千代への再訪のきっかけを」という気持ちの高揚と、東葉高速線の利用促進、さらには地域の活性化を図ることを目的にスタンプラリー形式で開催した。その結果、京成バラ園の持つ知名度、新京成線や北総線各駅でのポスター掲出等により、沿線外を含む広範囲からの集客ができたことが大きな特徴といえる。また、従来は八千代市民の割合が高かったが、徐々に船橋市民の割合が増加していることから、参加者の範囲が広がっていることがうかがえる。

参加者数が多かったことについては、当日の天候に恵まれたことが大きな要因ではあるが、12.5kmという長い距離設定も1つの要因と考えられる。

完歩者特典は、当社オリジナルのエコバッグで、エコブームを意識し作成。このエコバッグを配布する事により、参加者にも環境保護に対する意識の向上を訴えた。京成バラ園では、ローズガーデンの入園割引券を配布し、入園の促進を図った。また、今回は飲料業者の協賛を得られ、参加者に飲料を無料で配布した。

4. 東葉東京メトロパス販売促進

東葉東京メトロパスは平成20年4月1日から発売を開始し、東葉高速線各駅（西船橋駅を除く）から当社線内の往復と、東京メトロ線全線有効の1日乗車券を組み合わせた企画乗車券であるが、より当該乗車券のPRと鉄道利用促進を図るため、前年度においてもキャンペーンを実施しているが、本年度においても、東京メトロとの協力によりキャンペーンを実施し更なる利用促進を図った。

なお本年の実施にあたり、前年の実施結果では勝田台周辺地区の認知・利用が低いといった利用動向調査内容を踏まえ、勝田台地区を中心にPRの強化を図った。

(1) ターゲット

東葉勝田台駅周辺にお住まいの女性・主婦層

(2) キャンペーン実施期間

平成21年11月14日(土)～12月27日(日) 44日間

※前年実施期間 平成20年10月1日(水)～11月12日(水) 43日間

(3) キャンペーン内容

期間中に東葉東京メトロパスを購入した方に対し、アンケート付応募用紙を配布、回収。応募者の中から抽選で都内施設の食事券等が当たるもの。

(4) プロモーション範囲

①エリアカバー施策

・読売新聞、朝日新聞への折込チラシ 51,700部

※八千代市エリア内における全年齢層をターゲット

②ターゲットセグメント施策

・地域新聞本誌広告掲載、折込チラシ 171,212部(折込28,145部)

※30～60代を中心とした女性がターゲット

③リビング新聞折込 14,530部

※勝田台地区の30～60代を中心とした主婦層がターゲット

④東洋バス車内中吊、チラシ配布 50台実施

※バス利用者をターゲット

⑤生活導線施策

・幼稚園児サンプリング 約4,000人を対象

※20～30代のファミリーをターゲット

⑥その他

新聞等のチラシ折込、広告の掲載等ではカバーできないエリアが存在するため、また、折込された時期と時間差を置き再度チラシを配布することによって、更なる利用促進を図るため、各家庭へのポスティングを実施

※東葉勝田台、八千代中央、八千代緑が丘各駅周辺地区

○折込チラシ



○応募券



○東洋バス車内でのチラシ設置



(5) 東葉東京メトロパス発売実績

①キャンペーン期間における発売枚数

本年：平成21年11月14日(土)～12月27日(日)

前年：平成20年11月15日(土)～12月28日(日)

(単位：枚、%)

駅名	本年	前年	差	伸率
東海神	369	325	44	13.5
飯山満	1,236	1,114	122	11.0
北習志野	2,237	1,833	404	22.0
船橋日大前	544	465	79	17.0
八千代緑が丘	1,933	1,567	366	23.4
八千代中央	1,704	1,527	177	11.6
村上	508	398	110	27.6
東葉勝田台	902	678	224	33.0
合計	9,433	7,907	1,526	19.3

(6) 今後の課題

今回は八千代市内を重点に置いた販促活動に効果が認められ、東葉勝田台駅では、キャンペーン期間中と前年同時期を比較し、8駅中最も高い伸び率であった。

キャンペーン終了後も発売を定着させるためには日常的なPRが不可欠であると考えられるため、新たなPR策を検討し、今後のキャンペーン等で展開していきたい。

5. 今後の平成21年度事業について

(1) 駅公設掲示板の設置

各駅において、沿線の公共施設および自治会が利用者に対し鉄道利用の促進の観点から、公益情報を提供するための掲示板である。

現在は、設置へ向けた業者による現地確認を行い、3月中には全駅へ設置・運用を行う。

(2) ダイヤ改正に伴う配布用時刻表の作成

ダイヤ改正については、昨年まで3月にJR・東京メトロと合わせた改正を行っていたが、本年については3月の改正が無いことから、配布用時刻表を新たに作成、裏面には沿線案内を加える。3月中に駅および沿線公共施設等への配布を行ない、鉄道利用促進のツールとして活用する。

(3) 駅周辺地図看板の設置

駅周辺地図看板の設置については、未設置駅へ優先し3月中に設置を行う。地図は、周辺の公共施設・名所などを採り入れ、沿線案内の強化を図る。

(4) パークアンドライド〔村上駅〕整備

パークアンドライドの整備により、駅勢圏を拡大させ、更なる利用促進を図ることとする。現在、整備へ向け施工業者と調整を行っており、3月中に運用を開始する。

(5) 企画乗車券の発売

利用者が割安感を感じる多様な割引乗車券を導入するべく、今年度においては、八千代緑が丘駅前のイオンSCとタイアップする。開店5周年祭にあわせ、3月中旬～下旬にかけ、東葉高速線各駅（西船橋駅を除く）～八千代緑が丘駅間の往復割引企画乗車券を発売する。

(6) モビリティマネジメント推進事業

公共交通の利用促進に資する啓発活動を実施するべく、今年度は東葉高速線各駅周辺の駐車場、駐輪場、駅前バス発着路線などを掲載した冊子タイプのパンフレットを作成。沿線の公共施設等で配布し、公共交通機関の利用促進を図る。3月中に配布する。

※なお、21年度事業のうち、運休・遅延情報を提供する「災害時における公共交通情報システム」への接続については、国土交通省から事業廃止の情報を受け、システム接続を行わないこととした。